

今ではこのようなセルロイド製キューピーは見られなくなり、金型も使われなくなって久しい時が流れました。作れる職人さんも少なくなりました。

まだ技術が生きている間に記録を残していくようにしたいものです。



キューピーさんとセルロイド

キューピーさんは白寿です

キューピーさんは白寿

1909年にアメリカのローズ・オニールがレディース・ホームジャーナル12月号に発表したキャラクターです。

キューピッドがモデルだが、差別化するために綴りを変えています (cupidとkewpie)

1913年3月4日に意匠特許登録を受ける(キューピーには12の特徴が必要)

ローズ・オニールは二度結婚していますが、二度とも離婚して子供もいないなど家庭的には恵まれない人でした。ニューヨークからミズーリ州ポニーブルックに戻っていた時に考え出したのがキューピーさんです



キューピーさんの特徴

カブのような尖った一房のヘアースタイル

小さく短い眉毛

丸く大きく左右どちらかを見ている目

ピンクに彩られ少し膨らんだ頬

微笑むように僅かに上がっている口角

うつむき加減の顎

体から少し離れた位置で開き気味の腕

大きく開いたてのひら

ぽってりとしたおなか

2.5~3頭身のバランス

背中に生えた小さな羽根(ケルビム)

判別できない性別





ローズオニールの特徴的なサイン

- ローズオニール認定のキューピーには特徴的なサインが入っています。前頁のリボンをご覧ください



ローズ・オニールの精神

ローズ・オニールタイプのキューピーは、最初人形製作が盛んだったドイツで作られました。しかし工場から送られてきた原型は、あまりにも理想からかけ離れたものでした。そのため彼女は自らドイツに渡り九種のサイズの原型を作りました。これらが総てのキューピー人形の基本となっています。

またオニールは一番小さくて安価なキューピーがぞんざいな扱いをされているのを見て

「この一番小さくて安価なキューピーを買うのは貧しい子供達。だからこそ、大きなキューピーに負けないぐらい心を込めて作ってください」と言いました。これに感動した職人たちは、以後は丁寧に作るようになったそうです。

キューピーとテディベア
(何れもドイツ製:
キューピーは
ローズ・オニール
が原型を作った
ビスクドール)
(1915頃)

これだけのものから
当時の社会情勢を感じる
ことができます。すなわち
テディとはアメリカの
ルーズベルト大統領の愛称
1915年は第一次大戦中
ですが、アメリカはまだ
参戦していませんので、
ドイツで作られたのです



キューピーさんとセルロイド

- キューピーさんに最適な素材であったセルロイド

初期のキューピーさんは紙製、コンポジション(おがくずを固めたもの)、ビスクドール(二度焼きした素焼きの人形)などが中心でした。

加工が容易で着色を自由に行うことが出来て、美しい光沢と仕上がりがきれい、軽量で清潔感があり、柔らかみ温かさを感じる事が出来るセルロイドはキューピーさんに最適な素材でした

でも、初期のセルロイドは高価だったし、成型技術が伴っていませんでした。

セルロイド玩具の製法

- 切り抜き物
セルロイドの板を型に切り取り、組み合わせて作られた物 (風車)
- 湯押し物
板生地を型にはめ、熱湯に漬けて押し成形。
ピンポン玉のように継ぎ合わせ目が二重に重なっている物に行われる (ピンポン玉、ガラガラ)
- 吹き込み物
鋳型にセルロイドの板生地二枚を挿入し、加熱して空気を吹き込み、膨らませた物
(人形、動物)

切り抜き物の風車が
組み込まれたガラガラ
(明治末期)



湯押し成型された
ガラガラ
(大正初期)



最初期のセルロイド人形

次ページのセルロイド人形のうち、左と中は最初期のものです。比較の為に置かれたミーコ人形と比べると大きさが分かります。

セルロイドが高価だった時代でしたので顔だけに使用しています。ワンプレスで成型したもので、実に薄く作られています。



セルロイド玩具業界の二大先駆者

- 永峰清次郎

セルロイドを使って櫛の製造を行っていた永峰清次郎は、玩具の製造にも乗り出す。

風車、蝶々、吹上げ玉などを作っていたが、**1910**年に「起上小法師」、「ガラガラ」などの玩具を製造し、**1913**年に吹き込み成型の特許を取得する

この人形はゴム人形とも呼ばれ、軽くて美しかったので全国に普及していった

- 千種稔

日本で最初のセルロイド買付を行っていた西川伊平方で働いていたが、独立し明石球で財を成した。

セルロイド生地 of 製造には失敗したが、加工に乗り出し葛飾区四ッ木に敷地三百坪、従業員二百五十名の工場を建設し、キューピー等の人形制作に力を入れる。

この工場の跡地が渋谷公園となり「葛飾区セルロイド工業発祥の地」の記念碑が建てられている

日本におけるセルロイド玩具業界の二大先駆者として忘れてはいけない名前が、永峰清次郎、千種稔です。

次ページの両者の写真を掲載しています。その次の人形のような日本的なものを作っていたわけです。



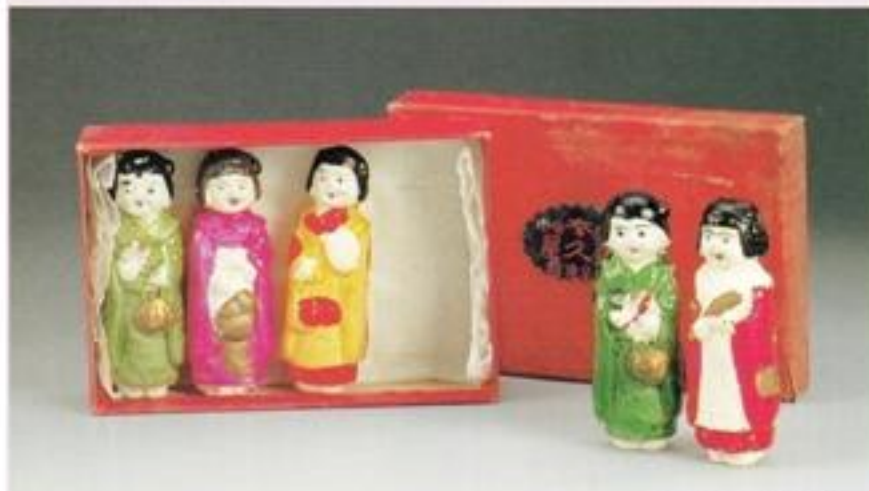
水峰清次郎氏

水峰清二郎



千種 登

千種 登



⑩ 箱入りセルロイド人形
明治時代 (1910s) 藤久屋製
6.5×10 cm
Celluloid dolls in box



⑪ 乃木大将
大正時代 (1910s) ゼンマイ動力
23×16.5×7.5 cm
Admiral Nogi



⑫ 七福神
七福神の内、長者門天が抜けている。
明治末～大正初期 (1910s)
7.5×4×3 cm
Six deities from a set of the Seven Deities
of Good Fortune

初期の代表的な
セルロイド人形



③ 学生と少女
大正時代 (1910s)
15×5×3 cm
Student & girl

④ 犬を抱く少女
大正時代 (1910s)
18×3.5×4.5 cm
Girl holding a dog

セルロイドとキューピーさんの歴史

セルロイドの歴史

- 1870 この頃にセルロイドが発明される
- 1877 日本で最初のセルロイドが神戸の外国人居留地二十二番館にもたらされる
- 1895 日清戦争の結果、樟腦の原料である樟樹の産地である台湾が日本領となる
- 1899 台湾樟腦専売制施行
- 1903 粗製樟腦、樟腦油専売法施行
- 1909 堺に堺セルロイド、網干に日本セルロイド人造絹糸が設立される
- 1914 第一次大戦勃発。アメリカ及び日本に注文が殺到する
- 1919 第一次大戦終結により大不況となる
セルロイド製造会社八社が合併する
- 1923 関東大震災により大被害を受ける
林芙美子がセルロイドのお土産を作っていた(放浪記より)
- 1925 これから数年に渡ってドイツで驚異的な生産高を記録する(18900,21000,22000,16300)

キューピーさんの歴史

- 1894 永峰清次郎が吹上げ玉を見て玉の製造を始める
- 1908 フローレンス・ブリッツがビリケンさんを考案する
- 1909 ローズ・オニールがキューピーさんを考案する
- 1911 永峰清次郎が蒸気加工の技術を取り入れたことにより、大物製作が可能になる
- 1912 ドイツでビスクドールキューピー製作
- 1913 セルロイド玩具が初めて三越で販売
日本でもキューピーが製作される
- 1914 日本に注文が殺到する
- 1918 セルロイド製品輸出検査始まる
- 1919 食品工業(現キューピー)設立
- 1921 青い目の人形の歌が発表される
セルロイド玩具輸出額108万円
- 1922 食品工業、キューピーを商標登録
- 1923 関東大震災により生産量が六分の一に
- 1924 「キューピーさん」発表
- 1925 セルロイド製キューピーが主流となる

戦前のセルロイド
キュービー
(総て日本製)

何となく別の
キャラクターに
似ているものも
あるような気が
する人もおられる
ことでしょう。



その別のキャラクターとはビリケンさんです

ビリケンさんは1908年にアメリカのフローレンス・ブリッツが発表した福の神です。

キューピーさんは、こちらを参考にしたとの説もありますが、一年前に発表されているだけのことで関連はないと思います。

彼女の夢の中に出てきた福の神だということですが、当時のタフト大統領をモデルにしたとも言われています。しかしイヌイトのお土産が元になったというのが本当のところでしょう。

日本には1909年に渡来して1911年に大阪の繊維問屋田村駒(株)が商標登録を行いました。

翌年に大阪新世界のルナパークにビリケンさんが置かれてましたが、この時のものはルナパーク閉鎖とともに行方不明となってしまいました。

そして1980年に田村駒(株)の協力を受けて復活した木製のものが現在、通天閣に置かれているビリケンさんです。

そのため関西の人にはおなじみの存在で、中には日本生まれだと思っている人もいますが、アメリカ生まれです。最近では関東でも知られていて箱根湯本の駅で見ることが出来ます。

タフト大統領よりも似た人がいた

ビリケンさんはタフト大統領がモデルだったはずなのに、日本にもっと似た人がいました。それが寺内正毅首相です。寺内首相は陸軍出身なので、非立憲宰相と呼ばれました。頭を押さえられている三人は何れも後に首相となりましたが、加藤高明は病死、原敬、犬養毅は暗殺と、在任中に悲劇的な死に方をしています。

ウィリアム・H・タフト
William Howard Taft



寺内 正毅
(てらうち まさたけ)



通天閣のビリケン



神戸・松尾稲荷神社
のビリケン



大阪・新世界の串カ
ツ店「巻番」店頭のビ
リケン



三ノ宮のビリケン



新世界のビリケン



箱根湯本駅ホームの
ビリケン



岡本一平の風刺漫画
寺内ビリケン(非立憲宰相に
頭を押さえられているのは原敬、加藤高明、犬養毅)

放浪記

浮世離れて奥山ずまひ、こんなヒゾクな歌に囲まれて、私は毎日、玩具のセルロイドの色塗りに通っている。日給は七十五銭也の女工さんになって今日で四ヶ月。私が色塗りした蝶々のお下げ止めは懐かしいスベニール(お土産)となって、今頃はどこへ散乱して行っていることだろう。日暮里の金杉から来ているお千代さんは、お父つつあんが寄席の三味線弾きで、姉第六人の裏屋住まいだそうだ。「私とお父つつあんとで働かなきゃあ食えないんですもの」お千代さんは青白い顔をかしげて、侘しそうに赤い絵の具をベタベタ蝶々に塗っている。ここは、女工が二十人、男工が十五人の小さいセルロイド工場で、鉛のように生気のない女工さんの手からキューピーがおどけていたり、夜店物のお下げ留めや、前帯芯や、様々の下層階級相手の粗製品が、毎日毎日私達の手から洪水のごとく市場に流れてゆくのだ。朝の七時から夕方の五時まで私達の周囲は、ゆでイカのような色をしたセルロイドの蝶々や、キューピーでいっぱいだ。

文豪の文章はやはり違う

前頁は林芙美子の放浪記です。この時の日付は一九二三年十一月十五日。すなわち震災から僅か二ヶ月半後です。

文豪の文章は、やはり違っていて、これだけの中から給与が幾らか、工場の大きさ、労働時間、何を作っていたか、どのような人が働いていたか、購買層がどのような人であったかが分かります。

- 1927 台湾、内地の樟腦の販売を扱っていた鈴木商店破綻
大日本セルロイドが酢酸纖維素成型材料生産開始
- 1928 大日本セルロイド東京工場内に写真フィルム生地試験工場竣工
- 1930 アメリカでセルロイド生地の輸入関税大幅引き上げ
- 1934 日本のセルロイド生産が一万トンを突破(~1940)
セルロイドが25,000以上の製品に使われていた
- 1935 無樟腦セルロイド生産開始
- 1937 ドイツからPVC商品見本初輸入
最高の生産高を記録(12,762トン)
- 1938 「我にセルロイド」の記事
(歯磨きのチューブ、足袋のコハゼ、蚊帳の吊輪、襖の引き戸などを代用すると記述)
- 1942 企業整備令により新生セルロイド生地メーカーは四社になる
- 1945 戦争により壊滅的被害

- 1927 青い目の人形使節来日
国産セルロイド玩具世界一に
- 1929 パープードール発売 年に70万個輸出のヒット商品となる
- 1930 「キュービー・ビーちゃん」発表
- 1931 東京セルロイド玩具工業組合設立
- 1932 日本橋白木屋デパートの火災
セルロイド玩具の可燃性が問題化
- 1935 小物玩具生産額2,000万円、年間生産額10億個の新記録
- 1937 玩具輸出額4,200万円、貿易額第四位
- 1939 第二次大戦勃発によりヨーロッパ諸国への輸出途絶
- 1940 アメリカへの輸出途絶
- 1941 海外への輸出途絶
セルロイド玩具加工業は不要不急とされる
- 1942 玩具への金属使用禁止
- 1943 金型供出
- 1944 木製、竹製玩具登場
- 1945 戦争により壊滅的被害

青い目をしたお人形は

作詞野口雨情、作曲本居長世の「青い目をしたお人形は」の歌は誰もが一度や二度は歌われたことがあるでしょう。

この歌は1927年に人形使節が来日したことから作られたと思われる方も多いのですが、

実際は金の船1921年12月号に発表されていますから、歌のほうが六年早いのです。そして長世の三人の娘が歌って日本中に広まりました。

アメリカでも1923年に歌われていますので、ギューリック博士も耳にしたかもしれません。

そしてこの歌もきっかけの一つとなって人形使節の来日となったのです。

ただし来日した人形使節はセルロイドではありませんでした。この野口雨情、本居長世、ギューリック博士の三人は奇しくも同じ1945年に亡くなっています。(雨情:1月27日63歳、長世:10月14日60歳、ギューリック:12月21日85歳)

青い目のお人形の四人

次ページの写真は「青い目のお人形」に関係している四人です。上左は作詞の野口雨情、右は作曲の本居長与。下左は「お人形使節」のアメリカ側代表グーリック博士、右は日本側の実業家渋沢栄一で、ちょうど到着した「お人形使節」を眺めているところです。



戦前40代後半頃の写真



【本居長世】
1885～1945
童謡の時代を
になった作曲家
「赤い靴」や
「青い目の人形」
が有名



〔ギューリック博士〕
1860年～1945年



青い目の人形使節

日米関係が悪化していた1927年春、ひな祭りに間に合うようにと12,739体ものお人形がアメリカから送られてきました。

これは親日家として知られていたギューリック博士の提唱により、子供の頃から日米親善の精神を築こうと全米(当時は48州)の子供達に呼びかけて実現したものです。

日本側は経済界の重鎮渋沢栄一が中心となって受け入れました。

雛祭りの日、つまり三月三日に日本青年館で行われた歓迎式典で歌われたのも「青い目をしたお人形」ではなくて「人形を迎える歌」です。

このお人形は日本各地に送られ大歓迎を受けます。

ギューリック博士は御礼は不要だと言いましたが、答礼として五十八体の人形が贈られました。

この青い目のお人形ですが、戦争中に焼かれたり竹槍で突かれたりしたために現在では約三百五十体しか残っていません。

一方の答礼人形は四十四体が今でも残っています。



謝辞に贈られてきた「ヘレン・ジュリア」とパスポートなど



日本青年館での友情人形歓迎会



人形を製作する新聞記事
【毎日新聞】昭和23年2月16日（戦後人形の歴史）

人形を迎える歌

海のあちらの友達の 真の心のこもっている
かはいいかはいいい人形さん
あなたをみんなで迎えます
波をはるばる渡り来て
ここまでおいでの人形さん
さびしいようにはいたしません
お国のつもりでいらっしゃい
顔も心もおんなじに 優しい貴方を誰がまあ
ほんとの弟妹と 思わぬ者がありましよう

ギューリック博士の挨拶状

ギューリック博士は人形を送る際に下記のような挨拶状を添えてきました。

この人形は「友情の人形」と申してお友達同士の御使いでございます。

米国にある「世界児童親善会」と申す団体を代表して、このお人形は貴方やおうちの皆様のご機嫌伺いに日本に参ります。

長い航海をしまして美しい国に着きました時は、眼を開けて「ママー」と申してあなたが見せてくださる色々の美しいものを見、又三月の御節句にも交えていただきたがることでしょう。

日本の御雛祭りのことを聞きました幾千幾万の米国人は、年寄りも若い者も子供も、たいそう御貴国のことに興味を持ちました。そして個人や団体が大喜びで、ご覧のような人形に大喜びで思い思いの着物を着せて、集めましたのが一万個にも達しました。これらの人形を通して、私どもはどの位に日本の子供方のご健康とご幸福とご進歩とを心より祈っているかということをお客様に申したいのでございます。いよいよ日本に送るとなりました時、諸所で数十個、数百個づつの人形の送別会が行われ、その盛んな有様はお目にかけたいほどでございました。

私は長い間御貴国におりましたので、御貴国の習慣として、他から品物を貰いますとその親切にむくいるために、何かお礼を差し上げることと存じております。

それですからこの人形をお貰いになったら返礼をしなければとお思いでしょうが、決してその御心配はなさらなくてください。その代わりにこちらの子供の喜ぶものを申しあげますと、貴方方から手紙をいただくことです。英語でも日本語でもかまいません。日本文は訳す者が米国にも沢山います。その手紙をもし日本の美しい巻紙や絵のついた紙に書いてくだされば、なおさら喜びます。また桜や菊や風俗等の絵葉書、ことに貴方や貴方の学校とかご家族の写真は大歓迎されます。人形を送りました子供達はそれはそれはお手紙を待っていることを覚えていてください。万一人形につけてあります差出人の姓名番地が途中で無くなりましたなら、人形の旅行免状の番号を記し、お手紙は私までにお送りください。そうするとよく調べて正しい受取人にまで届けます。

どうかこの人形が貴方や御姉妹様方、またお友達の間にも可愛がられ、面白がられますように、そうして米国と日本と何時も本当に仲良しのお友達であるようにと常に私は希望しているのでございます。

ごきげんよう シドニー・ルイス・キューリック

答礼人形



Miss 香川

アメリカ合衆国で贈られた答礼人形、スミエ、シシ、徳島県中津



Miss 山口子

アメリカ合衆国で贈られた答礼人形、スミエ、シシ、徳島県中津



Miss 香川

アメリカ合衆国で贈られた答礼人形



Miss 香川
山口子

アメリカ合衆国で贈られた答礼人形、スミエ、シシ、徳島県中津

アメリカ合衆国
メイン州博物館



ニューヨークで歓迎を受ける答礼人形

答礼人形

「お人形使節」の答礼として五十八体の人形が贈られました。内訳は各都道府県代表、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸の六大都市、樺太、朝鮮、台湾、関東州(後の満州)、そして日本代表です。

これらのお人形には青森陸奥子、秋田落子、筑波かすみ(茨城)、長野絹子といったぐわいに、それぞれの土地にちなんだ名前が付けられました。

大卒の初任給が五十円ぐらいだった時代に三百五十~五百円位で作られたといえますから、いかに高価なものだったかが分かります。

キューピー・ピーちゃん

野口雨情作詞、中山晋平作曲というコンビで作った歌です

歌っているのは平井英子

一説では、この歌こそ「青い目の人形使節」が元になって作られたとも言われています







平和な時代、暗い時代

前二頁のセルロイド人形は戦前に作られたものですが、このようなお人形が好まれるのは平和な時代です。ところが戦争が始まって暗い時代となると次ページのような兵隊人形となってしまいます。

さらに暗い時代となるとセルロイドは使用出来なくなり、竹製、紙製、木製の玩具が登場することとなります。



セルロイド製「射撃兵」
1930s 20×14.5×10 cm
Guzman

④ 機関銃を撃つ兵士
マスタヤ 1930s 18×25×7 cm
Soldier shooting a machine gun





④ 竹製「ピストル」と高射砲
1940s 11×21×5cm
Pistol and high-angle gun

⑤ 代用てまり
1940s 10cm
Paper handballs with knit cover



⑥ 代用てまり
紙てまりを作り、その糸を編んで作ったまり。
1940s 11.5cm
Paper handballs with knit covers



◎ 木製「軍艦」
甲板上の建造物の形が型押し（プレス）でなされている。昭和19年（1940）8×12×1cm Wooden warship



◎ 竹製「装甲車」
最初アクリル製の装甲車も、金属が使用出来なくなると木製になり、最後には竹で作られたものもあられた。
1946 7×10.5×4cm Bamboo armored car

- 1946 GHQよりセルロイド工場が賠償撤去の指定工場として管理保全を命じられる
塩化ビニルの製造開始
- 1949 専売公社発足、樟脳専売法公布 (~1962)
- 1950 網干工場にアセチロイド製造設備
大日本セルロイド東京工場セルロイド製造設備増設(1952も)
- 1951 太平化学製品軟質塩ビ製造
- 1952 筒中セルロイド硬質塩ビ板発売
- 1954 セルロイドの年間生産高戦後最高を記録する(8,354t)
- 1959 旭化成、中谷セルロイド新製生地製造中止
大日本セルロイド東京工場再製生地製造中止
- 1960 樟脳専売制度行き詰まる

- 1945 日本玩具展開催
資材不足のため国防色のキューセルロイドのピンクのカエルなどの珍品が登場
 - 1946 国産玩具輸出再開(made in occupied Japan)の刻印が義務付けられる
 - 1947 戦後初の全日本おもちゃ展(白木屋)
 - 1950 朝鮮戦争勃発による特需
国産プラスチック製玩具製作開始
 - 1952 日本興行銀行、キューピーをキャラクターとして使用
講和条約の発効によりoccupiedの文字が取れる
キャネロンマークの硬質塩ビ玩具販売
 - 1953 塩ビ系ソフビ玩具日本上陸
 - 1954 日本製セルロイド玩具の可燃性問題化
伊勢丹の広告が各紙に出る
セルロイドとプラスチック玩具の代金
セルロイド アセチロイド 塩ビ
- | | | | |
|-----|------|------|------|
| 起上 | 420円 | 460円 | 500円 |
| 裸人形 | 200円 | 260円 | - |
- ソフトビニール人形商品化
 - 1957 食品工業、社名をキューピー(株)に変更
 - 1960 空気入りビニール人形だっちゃんブーム



戦後のキューピー
オニールさんの
精神に基づいて
いるために、
心なしか表情が
明るくなっている



© 1954 THE CELLULOIDEAN COMPANY



© 1954 THE CELLULOIDEAN COMPANY

1962 樟脳が専売品から外れる
合成樟脳の輸入が許可される

1963 大成化工、新製セルロイド生地生産中止

1964 淀川化学、新製セルロイド生地生産中止

1965 タキロン、新製セルロイド生地生産中止

1966 筒中プラスチック工業、セルロイド生地生産中止 (新製、再製とも)

1967 大成化工、再製セルロイド生地生産中止

1969 ダイセル、東京工場閉鎖

1973 鎌田セルロイド、再製セルロイド生地生産中止

1974 太平化学製品、新製セルロイド生地生産中止。日本国内の新製セルロイド生地メーカーはダイセル一社となる

1975 定延セルロイド、再製セルロイド生地生産中止

1982 日東セルロイド、再製セルロイド生地生産中止


1994 ダイセルクラフト、上海に合併会社設立、セルロイド生地生産移管

1995 ダイセルクラフト網干工場最後のセルロイド生地製造(189t)

2000 セルロイドカンファレンス2000、東京国際文化会館にて開催

2005 セルロイドハウス横浜館開館

2007 映画ALWAYS続三丁目の夕日公開



1961 関東・関西セルロイド・プラスチック製品工業協同組合、日本ソフトビニール玩具工業会共催のコンクール開催。セルロイド玩具、ソフトビニール玩具出展
玩具輸出額二八六億円、輸出玩具産業面で世界第一位
バービー人形日本上陸

1966 ウルトラQ、ウルトラマン放送開始。ソフトビニール製怪獣玩具ブーム

1967 リカちゃん人形発売

1968 第一次アニメブームにより、鉄腕アトム、鉄人28号、エイトマン等の面登場
第二次怪獣ブーム。ソフトビニール製玩具が市場を席卷

1971 安全玩具(STマーク)制定、自主規制に乗り出す

1974 モンチッチ発売

1976 STマーク強化普及運動展開

1980 セキグチドールハウス会館

1998 ミッキーマウス誕生70周年記念のミッキー、ミニ一製作



① 鉄腕アトム Astroboy
昭和38年(1963) 18×16.5 cm ① 577円



② 巨人2号 Gigantor
昭和38年(1963) 16×14.5 cm ① 577円



③ エイマン The 5th Man
昭和38年(1963) 19×16.5 cm ① 577円



④ 狼少年ケン Ken the Wolfboy
昭和38年(1963) 17.5×15.5 cm ① 577円



⑤ 伊賀の影丸 Boy Ninja
昭和38年(1963) 15.5×15.5 cm ① 577円



⑥ 0感はやみ Zero Sen Hayami
昭和38年(1964) 17×15 cm ① 577円



⑦ 忍術伝聞方光 Ninja Botai Gekko
昭和38年(1965) 15×13 cm ① 577円



⑧ スーパージェット Super Jetter
昭和40年(1965) 16.5×16.5 cm ① 790円

ソフトビニールに追い詰められて いったセルロイド。しかし復権の日が

セルロイドに比べて、より軟質で人肌に近いという特性を持つソフトビニールは難燃性である。価格が安いといった面からもセルロイドを追い詰める存在となりました。

特に1966年の第一次怪獣ブーム、1968年の第二次怪獣ブーム時には、毎週のようにソフトビニール製の新製品が発売され、セルロイドは姿を消してしまいました。また子供達が好きなキャラクターも怪獣、怪獣となりキューピーのような愛くるしいものは好まれなくなってしまいました。

しかし最近になって塩化ビニールには内分泌攪乱物質(環境ホルモン)が検出される、燃やすとダイオキシンが発生するなどの欠点があるのが判明しています。

これに対してセルロイドには、そのような欠点はありません。また近年の昭和ブームにより過去を知っている人には「懐かしい」、知らない人には「目新しい」素材として再び注目されるようになりました。そのため映画、テレビなどからの出品協力要請が増えてきています。

ST(Safety Toy)マークとの関係がありますので子供向け玩具としては難しいのですが、大人向けとしてセルロイド製玩具、中でもキューピーが復活する日が来てほしいものです。

怪獣

怪獣ブームを支えたソフビ人形。ヒーローを語る上で欠かせない怪獣は、1回しか登場しなくても、子供の心に強烈なインパクトを与えた。モノクロテレビでは見られなかった不思議な色合いや、デフォルメされた丸いフォルムに愛着が湧いた。昭和46年の第二次怪獣ブーム時には、毎週のように新製品が発売されていた。



1971 ●昭和46年
マッコング
（タカラ）



昭和47年
毛鱗ウ
（タカラ）



昭和48年
オッサム星人
（タカラ）



昭和48年
カネゴン
（タカラ）



1968 ●昭和43年
キングジョー
（タカラ）



昭和48年
ババサン星人
（タカラ）



1971 ●昭和46年
ガメラ
（タカラ）



昭和48年
ババゴン
（タカラ）



昭和48年
ゴジラ
（タカラ）



昭和48年
アーストロン
（タカラ）



昭和48年
アガラス
（タカラ）



ソフビ怪獣と共に語るあの頃の思い出……。



1966 ● 昭和41年
「ウルトラマン」ツアビ人形
 ツアビ人形は、両肩にツアビを装着し、腕を伸ばすと「ウルトラマン」の顔がコップとく、顔の両目カラーリングが露出する仕組み。価格は440円。(アキモト社)

遠き記憶の向こうに。

また幼い頃、常に傍らにあった
 怪獣ソフビやゾウモデル、そして
 グッズたち……。今では、どこに
 行ってしまったかもわからないけれど、それでもしっかり覚えてい
 るあの姿、色、におい、そして感
 動。こうして記憶の中から取り
 出してみると、思い出の向こうに
 当時の自分が見えてくる……。



1966 ● 昭和41年
ウルトラQ 手操り「おなごん」「おまごん」
 裏面にハイコンパル、ソフトビニールアクリルで作り、アクリルを丸めて顔のすぐそばで
 る「おなごん」「おまごん」の両方とも、ソフトビニール製。価格は440円。(アキモト社)



1966 ● 昭和41年
スパイダーガン
 1977年発売の「ウルトラマンQ」の
 登場人物、このスパイダーガン
 フォームを模し、シルバーを
 装飾された人形は、スパイダー
 フォームに「スパイダーガン」の
 名称が記されている。(アキモト社)



どちらがお好みですか

次の二枚はセルロイドと塩化ビニールのキューピーです。皆様はどちらがお好みですか。

何回も行ったり来たりして両者を見比べてください。



キュービー
1958 全高17cm 1.5歳-3歳



キュービー
1968 77122-A 140-450



会いたい人がいる。待っている人がいる。

ALWAYS

続・三丁目の夕日

吉岡秀隆 堤 真一 小雪
 福北真希 もたいまさこ 三浦友和 栗原 弘寿



原案 橋田寿賀子 脚本 津島隆文 監督 土井裕泰
 製作 東宝映画 監製 津島隆文 製作 津島隆文 土井裕泰 津島隆文 津島隆文 津島隆文 津島隆文 津島隆文
 配給 東宝映画 全国映画配給 東宝映画 全国映画配給 東宝映画 全国映画配給 東宝映画 全国映画配給 東宝映画 全国映画配給
 東宝映画 全国映画配給 東宝映画 全国映画配給 東宝映画 全国映画配給 東宝映画 全国映画配給 東宝映画 全国映画配給
 東宝映画 全国映画配給 東宝映画 全国映画配給 東宝映画 全国映画配給 東宝映画 全国映画配給 東宝映画 全国映画配給

西岸良平が三十年以上に渡って連載している漫画を元にした映画ALWAYS続三丁目の夕日は昭和三十四年の話です。

この映画の中で薬師丸ひろ子さんが子供が生まれた時に買ったメリーゴーランドが出てきます。

映画では16ミリのモノクロフィルムでしたが、実際にはカラフルなものです。

セルロイドハウスはこの他にも堀北真希さんがお風呂屋さんに行く時の洗面器、小雪さんの化粧道具など約十点協力をしています。



16ミリに登場するメリーゴーランド

セルロイドのメリーゴーランドは、大変こわれやすく、形的にも保管が難しいため、昭和20年代のものをを見つけるのにとても苦労しました。あきらめかけた頃に、セルロイドハウス横浜館の館長さんからようやく見つかったと連絡が入ったんです。(あ)

